

「農業現場における新技術の実装に向けたマッチングミーティング」（第2回：野菜）
MAFFピッチ（企業プレゼンテーション） 出展企業・時刻一覧

(1) 施設環境計測・制御

	時刻※1	企業名：提案技術名・提案内容・連絡先
1	13:30 ~13:37	<p>株式会社IT工房Z：環境モニタリングシステム「あぐりログ」</p> <p>気温、湿度等の各種センサーや通信機能等を内蔵した「ログBOX」を施設内に設置し、データをクラウドサーバへ自動転送・蓄積。容易に施設内環境情報を閲覧可。PCやスマートフォンにより時間、場所を問わず施設内環境を確認可。また異常を知らせるメール機能、データを共有できるフォロー・フォロワー機能を搭載。</p> <p>名古屋市中区丸の内2-2-5 丸の内ヒビノ・オフィスライズ 4A 担当：座光寺 勇 氏 052-218-3318/info@itkobo-z.jp</p>
2	13:37 ~13:44	<p>イノチオアグリ株式会社：エアロビート</p> <p>園芸施設に備わった機器を制御し作物にとって最適な環境を自動的に作り出すシステムであり、①本体一式で10区画まで制御できるため、小規模複数ハウスや大規模多区画ハウスまで日本の様々なハウスに対応し、②同社製品の灌水制御盤アクアビートや培地重量センサラブサイトと組み合わせることで灌水計測制御まで行える。</p> <p>愛知県田原市六連町神ヶ谷16-1 担当：新聞 恵太 氏 0531-36-2011/keita.shimma@inochio.co.jp</p>
3	13:44 ~13:51	<p>NECソリューションイノベーター株式会社：NECハウス環境モニタリングサービス</p> <p>農業ハウス内の環境をモニタリングし、環境要素のグラフ表示と、飽差表による表現により、植物の光合成の活性化に向けた農業ハウス内の環境管理を支援。また、溶液の排液量のリアルタイムモニタリングにより光合成活性に即した給液管理も可能。</p> <p>東京都江東区新木場1-18-7 NECソリューションイノベーター本社ビル 担当：杉岡 圭 氏 03-5534-2716/agri@nes.jp.nec.com</p>
4	13:51 ~13:58	<p>株式会社テヌート：光合成効率促進装置「コンダクター」</p> <p>80種類のセンサーを接続可能。CO₂ガス&Air混在独立制御（群落内、培地、液肥への施用）が可能で、4つのエリアを個別独立制御し、測定データ、制御項目、CO₂ガス消費流量等の履歴データを1分毎に収集。LEDは、8系統独立制御、CO₂だけでなく、各種ガス体も制御可能。</p> <p>東京都港区南麻布3-20-1 Daiwa 麻布テラス5階 担当：藤原 慶太 氏 03-6859-8401 (FAX) /contact@tenuto.co.jp</p>

5	13:58 ~14:05	<p>パナソニックES建設エンジニアリング株式会社:パッシブハウス型農業システム</p> <p>温度、湿度、光をハウス内外のセンサーにより計測し、そのデータを元に、カーテンの開閉による日光調整、噴霧装置や散水装置による加湿冷却、側窓開閉や気流調整ファン等による気流生成を自動制御する環境制御型施設園芸ハウス。これにより、周年生産の安定化や、大幅な省力化を実現。</p> <p>福岡県福岡市中央区薬院 3-1-24 担当: 伊藤 友一 氏 092-523-9744 / ito.tomokazu@jp.panasonic.com</p>
6	14:05 ~14:12	<p>ボッシュ株式会社: 病害予測機能搭載モニタリングサービス Plantect</p> <p>いつでもどこでもリアルタイムでハウス内の環境(温度・湿度・二酸化炭素・日射量)を確認したり、過去のデータを参考にすることが可能。さらに、病気の感染リスクを通知することにより、タイミングを逃さずに農薬散布ができ、作業量を減らしながら、病気の被害を抑制できる。</p> <p>東京都渋谷区渋谷 3-6-7 担当: 矢岡 明倫 氏 03-5485-4438 / Akinori.Yaoka@jp.bosch.com</p>
7	14:12 ~14:19	<p>みらい株式会社: 国産次世代型統合環境制御機・温調みつばち</p> <p>施設栽培に接続される様々な設備(空調、調光、灌水、炭酸ガスなど)を、品目に合わせ適切な環境になるよう、クラウドを活用し統合的に制御することが可能。施設栽培での課題である、制御性能・耐雷性能・コスト適正化を実現。</p> <p>広島県広島市中区銀山町 3-1 ひろしまハイビル 21 16階 担当: 丁子 信明 氏 082-535-5231 / nobuaki.choji@go-mirai.jp</p>
8	14:19 ~14:26	<p>株式会社ルートレック・ネットワークス: AI 灌水施肥システム「ゼロアグリ」</p> <p>一般的なパイプハウスにおいて活用できる、灌水・施肥のAIによる自動化システム。各種センサーの値から、作物の生長や天候に合わせて灌水・施肥量を自動調整及び供給を行い、土壌を最適な状態に保持。</p> <p>神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-1-1 新百合ヶ丘シティビルディング 6F 担当: 中島 尚子 氏 044-819-4711 / mktg@routrek.co.jp</p>

(2) 露地野菜・畑作向け栽培センサー

	時刻※1	企業名（説明者）・提案内容・連絡先
1	14:26 ~14:33	<p>株式会社NPシステム開発：環境モニタリングソリューション「web-Watcher®」等</p> <p>① 環境値測定機、センサーノード「i-Node」、② 測定データ中継機、ゲートウェイ「i-Gateway」、③ 環境モニタリングクラウドシステム「web-Watcher®」の3つのソリューションにより、データに基づき育成に適した圃場環境を構築し、作物の「品質の向上」、「安定した収量」、「収量増加」を実現。</p> <p>愛媛県松山市中央1丁目9-13 担当：大野 浩一 氏 089-924-7817/oono@npsystem.co.jp</p>
2	14:33 ~14:40	<p>株式会社サンホープ：クラウド型かん水コントローラーG.S.I(ジー・エス・アイ)</p> <p>クラウド経由でかん水の遠隔操作(バルブの自動開閉や水量の調節など)・監視ができるコントローラー。最大24台の電磁弁を制御し、農作物の栽培や植栽・緑化でより細かいかん水制御を行うことができる。異常発生時にはメールでの通知も可能。</p> <p>東京都目黒区中目黒1-1-71 KN代官山4F 担当：本多 洋子 氏 03-3710-5675/y.honda@sunhope.com</p>
3	14:40 ~14:47	<p>株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック：あぐりセンスクラウド</p> <p>温度・湿度・気圧センサーを標準装備し、環境計測やアラートに対応。露地、水稲、果樹などの遠隔環境モニタリングが可能。画像、計測データはクラウドにより蓄積され、どこでも閲覧可能。また、取得したデータから各種演算等を行い、気象、病虫害予測をおこなう。</p> <p>青森県平川市館山前田85-2 担当：佐々木 憲昭 氏 0172-44-8133/sasaki@j-world.co.jp</p>
4	14:47 ~14:54	<p>株式会社セラク：みどりクラウド</p> <p>圃場に設置したセンサーで圃場の環境データを常時計測しクラウドに蓄積する環境モニタリング及びいつ何の作業をやったかをスマートフォンで記録し、圃場や作業者毎のレポート集計を行う農作業記録システムを組み合わせたスマート農業技術を展開。</p> <p>東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア6F 担当：みどりクラウド事業部 03-6851-4831/innovation@seraku.co.jp</p>

5	14:54 ~15:01	<p>PSソリューションズ株式会社：e-kakashi (イーカカシ)</p> <p>圃場における環境データをセンサーによって常時収集※し、結果をグラフ表示するだけでなく、収集データを踏まえ、植物科学の知見を組み込んだAIが、生育ステージにあった適切な作業を事前に提案するほか、収穫適期などのアドバイスや予測を提案する栽培ナビゲーションサービスである「e-kakashi」を展開。</p> <p>※920M 無線通信 (IEEE802.15.4g/e)、3G/4G 無線通信 (FDD-LTE/AXGP/HSPA/W-CDMA) が使用できる環境下に限る。</p> <p>東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター4F 担当：CPS 事業本部 事業管理部 飴本祐介 080-3584-0569</p>
		<p>ベジタリア株式会社：フィールドサーバ他</p> <p>圃場の環境情報や作物の生育状況を自動測定し、モバイル回線を通してスマホ等からモニタリングが可能。栽培作物の特性に応じて必要なセンサー（簡易気象計、土壌複合センサ等）を選択可能。測定データはクラウドに蓄積、API連携によりアグリノート（栽培記録サービス）や他社サービスとのシステム連携が可能。省電力機能により、乾電池のみで稼働する特徴を有す。農研機構との知財契約と技術監修による独自特許を加え、農業現場に適する機能・デザインを実装。</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 22-6 プライマル渋谷桜丘 1203 担当：島村 博 氏 03-6416-5525 / info@vegetalia.co.jp</p>

----- 15分間休憩 -----

(3) 露地野菜・畑作向けドローン技術

	時刻※1	企業名（説明者）・提案内容・連絡先
1	15:23 ~15:30	<p>国際航業株式会社：クラウド型 営農支援サービス「天晴れ」</p> <p>人工衛星やドローンからの撮影画像を解析し、農作物の生育状況を可視化するサービスを展開。圃場内ならびに圃場間の生育度合いや仕上がりが度を可視化することが出来るため、繁忙期の見回り等の農作業時間を大幅に削減するとともに、高品質化、高収量化、燃料コストの削減の効果がある。</p> <p>東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル7階 担当：営農支援サービスチーム 03-4476-8069 / agriculture@kk-grp.jp</p>
		<p>株式会社スカイシーカー：DJI AGRAS MG-1P</p> <p>DJI AGRAS MG-1P を機体として使用し、最新のDJI A3 フライトコントローラーや飛行中の信頼性を高めるレーダー認識システムなど、DJI の最先端技術を搭載。</p> <p>自律散布システムでは最大で5機同時で自動薬剤散布を行うことが可能。 (現在（一社）農林水産航空協会の定める運用基準において遠隔操作（手動操縦）のみ認められているところ)</p>

		東京都千代田区神田富山町 25 B1F 担当：平井 優次 氏 03-6260-8960/hirai@skyseeker.jp
3	15:37 ~15:44	株式会社ズコーシャ：ドローンを活用した可変施肥マップ UAV を用いて撮影した畑地土壌の画像から、圃場内の精密な窒素肥沃度を把握し、窒素可変施肥地図を作成・提供。一度窒素肥沃度を把握すると、その情報は数年に渡り、施肥に活用することが可能。また窒素可変施肥地図と連動可能な施肥機を使用すれば、地図に従って適切な化学肥料の投入量を自動で施肥が可能。 北海道帯広市西 18 条北 1 丁目 17 番地 担当：横堀 潤 氏 0155-33-4400/bori@zukosha.co.jp
4	15:44 ~15:51	ドローン・ジャパン株式会社：DJ アグリサービス ドローンによるリモートセンシングを行い取得したデータを、クラウド解析し、栽培・営農支援情報の提供や、圃場管理情報、収穫予想等の各種データ提供を行う DJ アグリサービスを展開。 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5F KS フロア 担当：春原 久徳 氏 03-6869-1384/info@drone-j.com

※以下の企業はプレゼンは実施いたしません（個別ブース設置のみ）。

—	—	株式会社オプティム：AgriManager、AgriAssistant、AgriDrone 圃場の空撮画像や気象、センサーのデータを Agri Field Manager で AI 分析し、圃場管理を最適化することで、ドローンによるピンポイント農薬散布が可能。 ドローン技術に加え、自動音声入力可能な作業記録システム（AgriAssistant）とも連携し、総合的に農業をサポート。 2つのシステムを組み合わせることで、収量管理、予測が可能となるよう今後開発予定。 東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 21F 担当：大西 範知 氏 03-6435-8569/noritomo.oonishi@optim.co.jp
---	---	--

（４）運搬ロボット

	時刻	企業名（説明者）・提案内容・連絡先
1	15:51 ~ 15:58	アイ・イート株式会社：マルチナビゲータシステム・ハウス用移動ロボット（ベース車両） 2輪駆動・キャスター方式による移動ロボット台車。上部にはさまざまなツールを取り付けられるように同社で規定する汎用ガイドを装着することで、今後提供予定のツールモジュールを接続可能。

		栃木県宇都宮市陽東 7-1-2 担当：尾崎 功一 氏 028-689-7203/ozaki@ieat-fresh.com
2	15:58 ～ 16:05	中西金属工業株式会社： agbee(アグビー) 自動運搬ロボットによる省力化と土壌センサーを用いた営農管理システム。人を追従し、自動走行する小型の運搬ロボットを用いることで、土づくりから収穫作業までの重量物運搬等による負担を軽減。また、収穫量を自動計測し、別途設置する土壌センサーから水分量等の情報を収集、記録し、収穫量予測等を行い栽培管理を効率化。 大阪府大阪市北区天満橋 3-3-5 担当：藤根 奨 氏 06-6351-4832/nkc.agri@gmail.com
3	16:05 ～ 16:12	①奈良県農業研究開発センター/②奈良工業高等専門学校： イチゴの収穫・管理支援用運搬台車 (1) 走行・方向制御バーと、(2) モータによる4輪独立駆動機構を装備させた市販運搬車に、さらに(3) レーザー距離計を付与し、走行安定性を強化することで、手を使わずに走行・方向制御でき、かつベンチ端で容易に転回可能。 ①奈良県桜井市池之内 130-1 担当：西本 登志 氏 0744-47-4491/nishimoto@naranougi.jp ②奈良県大和郡山市矢田町 22 担当：飯田 賢一 氏 0743-55-6115/iida@ctrl.nara-k.ac.jp
4	16:12 ～ 16:19	株式会社日本総合研究所：自律多機能型ロボット「DONKEY」(仮称) 圃場の自律走行、農業者の自動追従機能を備え、用途に応じたアタッチメントの切り替えにより農作業の様々なシーンを支援。本体には基本機能として、自律稼働・自動追従、監視、画像取得、情報計測、通信機能などを標準装備。着脱式のアタッチメントを本体に追加することで、運搬・作業管理、防除・除草などの機能の拡張が可能。 東京都品川区東五反田 2-10-2 東五反田スクエア 担当：各務 友規 氏 03-6833-1511/100860-agri4_donkey_jri@ml.jri.co.jp

※1 時間は次演者への交代時間(2分)を含みます。

※2 御質問等につきましては、個別ブースにおいて各企業等がご相談に応じます。